



きよかわむら

社協だより

2019

3

No.211



園児の演技に感激!

～デイサービス利用者が

保育園児と交流～

2月15日、デイサービスの利用者があおぞら保育園を訪問し、あおぞら保育園とにじいる保育園の園児と交流しました。

初めに園児から元気なあいさつがあると利用者は顔がほころびました。園児によるお遊戯の発表では、劇の役を一生懸命に演じる姿に「よくあんなに出来るね。みんなかわいいね」と利用者は皆感激していました。その後、利用者と一緒に「チューリップ」を歌い、最後は利用者が園児に手作りのプレゼントを渡し、交流会は終了しました。

利用者は園を後にする際、「今日は楽しかったよ。またね」と園児に声を掛け、お互い名残惜しそうに手と手でタッチをしていました。

3月号 おもな内容

- | | | | |
|----------|----|------------|----|
| ●特集 発達障害 | 2P | ●男の料理教室 | 3P |
| ●舟沢サロン | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●ふれあい交流会 | 3P | | |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。



発達障害

「どうしているのか」に 目を向けて欲しい



発達障害は、症状が外見から分かりにくく、周囲とのミスマッチから社会生活に困難が発生することがあります。今回は、大和市にある『クロスオーバー大和（豊田宗裕代表理事）』の薄葉寿恵管理者に発達障害について伺いました。



薄葉寿恵氏

Q 発達障害とはどのような障害ですか。

A 発達障害とは、脳機能の違いによって生ずる特性（感じ方・見方・捉え方・動き方等の違い）によって、環境にうまく適応することができず、生活上の困難を抱えてしまう状態のことをいいます。周囲の理解を得られていると環境に適応しやすくなるため、同じ特性を持っていても、障害には至らない人もいます。

Q どのような原因で発症するのですか。

A 発達障害は脳機能の違いなので病気ではありませんが、特性を周囲に理解してもらえず、不登校や引きこもりになったり、二次障害としてうつ病や強迫性障害などを発症することはあります。

Q クロスオーバー大和ではどのような支援をしているのですか。

A 『生きていくための力を養う』を目標に掲げ、自立訓練（生活支援）と就労継続支援（B型）のサービスを提供しています。具体的には、『自分の気持ちを表現できるようになる』などのSTEP 1から『働くことを体験する』などのSTEP 3まで、段階的に支援目標を定めています。新しいことを拒絶しないでまずはやってみること。色々な経験をして自信を持ってもらうようにしています。



作業を行う利用者

Q 当事者はどのような課題を持っていますか。

A 『人に理解してもらいたい』への困り感を持っている人が多いです。本当はコミュニケーションを取りたい、関わりたいと思っているけれど、『上手くいく自信がないので、なかなかチャレンジできない』という課題があります。だから、私たちはご本人が『安心感』を持って自分なりにチャレンジできる場を提供できるように支援をしています。

Q 最後に、村民の方へメッセージをお願いします。

A 「あの人はアスペルガー症候群だから」とか、レッテルを貼らないで欲しいと思います。そうではなくて、この人が「どうしているのか」に目を向けて欲しいと思います。

一般社団法人 クロスオーバー大和

住所 大和市中央1-7-12 中央レジデンス101・102

電話 046-240-7736 FAX 046-240-7738

Mail info@crossover-yamato.com

サロンでお喋りを満喫

〜舟沢サロン〜

2月17日、舟沢自治会館で舟沢サロンが行われ、13人が参加しました。老若男女が集い、毎回賑やかな舟沢サロンですが、この日は、あいにく子ども達の参加が少なかつたため、大人同士でお喋りを存分に楽しみました。「今年もしっかり節分の豆まきをしたよ」「まだまだ寒い日が続くね」「最近見かけなかったけど元気だった」と話題は尽きません。また、お喋りの合間には、来月のサロンで会場に飾る『おひなさまの吊し飾り』を折り紙で作りました。参加者は、「綺麗に出来た。来月は子供たちも大勢参加して欲しい」「次回は甘酒が出るらしいので今から楽しみ」と話していました。



笑って、奏でて、楽しんで

〜ふれあい交流会〜

村内の心身障害児者の社会参加を進めようと2月9日、村生涯学習センターで『ふれあい交流会』が村主催、村社協共催で行われ、障害をお持ちの方とそのご家族24名が参加しました。当日は、太鼓集団『舞彩駒』による太鼓や笛の演奏、小林朱見さんが指導している『みゅうじっくぼうる』などのアトラクションが行われ、参加者は太鼓を叩いたり、小林さんの音楽にあわせて歌い、演奏などして会場の全員で楽しみました。中でも、小林さんが指導している『チームK』によるバンド演奏は、日頃の練習の成果を出し切り素晴らしい演奏を披露しました。



料理を習って、早10年

〜男の料理教室〜

1月29日、村保健福祉センターやまびこ館栄養学習室で『男の料理教室』が行われ、12名の生徒の内10名が参加しました。この料理教室は、村食生活改善推進団体もみじ会が講師を勤め、男性が『いざ』という時に調理できるようになること、食事をしながらの会話を楽しみ仲間を増やしていくことを目的に始まり、今年で10年目となりました。代表の長谷川達雄さん（清水ヶ丘3区在住）は、「いろいろな方に支えられて10年やって来ました。料理の腕は上達しましたし、仲間と集える場所ができたこともやって良かったですと感じています」と10年を振り返っていました。なお、3月の料理教室は10周年を祝うため、いつものように講師に教わりながら料理を作り、バイキングをされるそうです。



ハートラインあゆみ祭

ハートラインあゆみでは、障害者相談支援センター、地域活動支援センター、就労継続支援B型の3つの事業を行っており、地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所は、主に精神障害を持った方を対象として活動をしています。ハートラインあゆみ祭が、日頃お世話になっている地域の皆様との語らいの場となり、ハートラインあゆみの日々の活動を知って頂く機会となればと思いますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成31年3月9日(土)
11:00~15:00
(受付開始10:30)
場所 厚木市中町4-6-11山口ビル201
(本厚木駅より徒歩5分)
内容 焼きそばや豚汁などの模擬店
体験発表会(13:00~)
ティータイム(交流会)(14:30~)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ハートラインあゆみ
電話 046-259-5712
FAX 046-259-5714

寄付をありがとうございます

平成31年1月~平成31年2月

〇匿名の方 10,000円

回収にご協力ありがとうございます

平成31年1月~平成31年2月

〇ペットボトルキャップ 10件
〇古切手 4件
〇使用済みプリペイドカード 0件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

平成31年度ボランティア保険の受付を開始します

平成30年度にご加入されましたボランティア保険は、平成31年3月31日で有効期間が終了します。4月以降も安心してボランティア活動が行えるようボランティア保険の加入をお勧めいたします。

[補償内容・保険料(年額)](1名あたり)

	補償金額(保険金額)		
	Aプラン	Bプラン	
死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
入院保険金日額	6,500円	10,000円	
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額	4,000円	6,000円	
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各保険金額に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限定額)		
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
保険料 (年額)	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ	500円	710円

※保険加入申込用紙は社協窓口にあります。
※天災タイプでは、天災(地震、噴火、または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

お問い合わせ、申込み先

清川村社協 ☎046-287-1118

はあと

うおーむ

2ページ目で、発達障害について紹介しました。現場で支援にあたる方の話しを聞き、改めて気づかされることが沢山ありました。特に、障害だからと決めつけず、何に困っているのかに目を向けて欲しいという言葉は、障害に関わらず必要な姿勢だと感じました。